

施策番号	1704		
施策名	健康危機に対する安全・安心の確保		
概要	新型インフルエンザをはじめとする感染症や食中毒等の健康危機事案に対し、市内の医療機関等との連携により、迅速かつ的確な予防と蔓延の防止対策を進める。		
担当局・部室	保健福祉局・保健衛生推進室	共管局・部室	
上位政策	17 保健衛生・医療		
施策に関する主な分野別計画等			

施策の評価

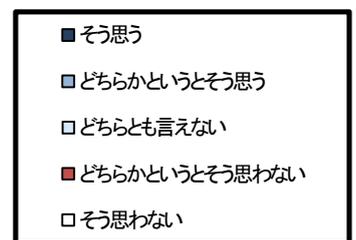
1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 腸管出血性大腸菌による感染症の発生件数(件)	-	-	92	37	35	94.3%	b	1.00
2 定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数の全国比(%)	-	-	70.6	55.2	41.5	67.0%	c	1.00
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価							b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 感染症や食中毒等の健康危機に対し、安全と安心が確保されている。	48 8.6%	207 36.9%	251 44.7%	39 7.0%	16 2.9%	561	b	
2 -								
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							b	



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	b	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 健康危機に対する安全・安心の確保は、市民生活に密接に関わる施策であることから、市民生活実感調査を重視する。						年度	-
(原因分析) ・みやこ健康・安全ネットや印刷物等による啓発活動を強化した結果、腸管出血性大腸菌による感染症、インフルエンザともに発生件数を、昨年度に比べ大きく減少させることができた。 ・市民生活実感調査については、平成21年度の新型インフルエンザの流行等によって市民の意識も高まってきていることから、b評価となった。						年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	三種混合(DPT), 二種混合(DT) 予防接種	256,926	253,930	かなり良い	保健福祉局
2	ジフテリア・破傷風第2期予防接種	35,091	28,222	普通	保健福祉局
3	日本脳炎予防接種	265,314	336,052	良い	保健福祉局
4	インフルエンザ予防接種	599,782	491,282	普通	保健福祉局
5	急性灰白髄炎(ポリオ) 予防接種	39,807	43,774	良い	保健福祉局
6	麻しん, 風しん予防接種	452,911	504,689	良い	保健福祉局
7	BCG予防接種	65,856	70,218	良い	保健福祉局
8	新型インフルエンザ対策	15,976	-	-	保健福祉局
9	予防対策	30,374	23,488	-	保健福祉局
10	結核・感染症発生動向調査	36,204	40,137	良い	保健福祉局
11	性感染症対策	20,552	21,243	普通	保健福祉局
12	O157等腸管出血性大腸菌対策	24,011	23,750	かなり悪い	保健福祉局
13	エイズ対策	49,467	50,732	普通	保健福祉局
14	肝炎ウイルス検査	9,455	11,226	かなり良い	保健福祉局
15	定期結核	59,864	65,231	かなり良い	保健福祉局
16	定期外結核	20,519	24,044	かなり良い	保健福祉局
17	受託結核	8,817	9,019	普通	保健福祉局
18	結核対策特別促進事業	23,934	27,372	かなり良い	保健福祉局
19	特別結核(事務費)	2,647	2,650	良い	保健福祉局
20	子宮頸がん予防ワクチン接種	159,564	715,929	かなり悪い	保健福祉局
21	ヒブワクチン接種	118,667	648,929	かなり悪い	保健福祉局
22	小児用肺炎球菌ワクチン接種	186,593	830,929	かなり悪い	保健福祉局
23	薬務関連事務	122,446	123,080	かなり良い	保健福祉局
24	薬物乱用防止啓発事業	4,674	4,773	かなり良い	保健福祉局
25	衛生検査所関連事務	4,528	4,839	良い	保健福祉局
26	毒物及び劇物取締法関連事務	123,163	123,449	かなり良い	保健福祉局

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・引き続き、市民や関係団体に対する注意の喚起や、新興感染症等に係る啓発、予防接種の勧奨等に努める。
・感染症や食中毒等が実際に生じた際には、市内の医療機関等との連携により迅速・的確な予防と蔓延防止の取組を進める。

施策名	1704	健康危機に対する安全・安心の確保				
指標名	腸管出血性大腸菌による感染症の発生件数（件）					
担当課	保健医療課		連絡先	222-3411		
1 指標の説明						
O111, O157等の腸管出血性大腸菌による感染症発生件数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
感染症の発生状況を示す指標			算出方法：各年度の発生件数の合計 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 21年度	最新数値 22年度	推移	目標値		
	92	37		数値	根拠	達成度
数値			55件減	35	過去5年間の最低値	94.3%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値						
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新の数値が a：過去5年間の最低値以下 b：過去5年間の最低値と下中間（最低値と平均値の間）の間 c：過去5年間の下中間と平均値の間 d：過去5年間の平均値と上中間（平均値と最高値の間）の間 e：過去5年間の上中間以上			過去5年間の数値を基に、過去5年間最低値以下をa、平均値以下をcとし、最高値も含めた按分で基準を設定した。 最低値：35件（平成17年度） 平均値：64件 最高値：92件（平成21年度）		23 b	

指標名	定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数の全国比（%）					
担当課	保健医療課		連絡先	222-3411		
1 指標の説明						
インフルエンザの流行発生状況の指標となる定点当たり報告数の全国比						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
感染症の発生状況を示す指標			算出方法：本市の定点医療機関当たり報告数（年間） / 全国の定点医療機関当たり報告数（全国）			
4 数値						
	前回数値 21年度	最新数値 22年度	推移	目標値		
	70.6	55.2		数値	根拠	達成度
数値			15.4ポイント減	41.5	過去5年間の最低値	67.0%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値						
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新の数値が a：過去5年間の最低値以下 b：過去5年間の最低値と下中間（最低値と平均値の間）の間 c：過去5年間の下中間と平均値の間 d：過去5年間の平均値と上中間（平均値と最高値の間）の間 e：過去5年間の上中間以上			過去5年間の数値を基に、過去5年間最低値以下をa、平均値以下をcとし、最高値も含めた按分で基準を設定した。 最低値：41.5%（平成19年度） 平均値：66.0% 最高値：74.3%（平成20年度）		23 C	